

令和3年度 第4回 深谷市上下水道事業運営審議会 会議録

1 開催日時及び場所

令和4年3月23日（水） 午前10時00分～午前10時45分

深谷市役所本庁舎災害対策本部室

2 出席者

審議会委員：岩崎会長、山崎副会長、大谷委員、引間委員、武田泉委員、
梅澤委員、岡田委員、石塚委員、簗輪委員、今井委員、
萩原委員、本田委員、持田委員

（15名中13名出席）

事務局：小林環境水道部長、及川環境水道部次長兼企業経営課長、山中環境水道部次長兼水道工務課長、渋澤下水道工務課長、井上企業経営課課長補佐、飯島水道工務課課長補佐、関口下水道工務課課長補佐、山本企業経営係長、坂本料金係長、小暮主任

3 審議会次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

（1） 令和4年度上下水道事業会計予算について

4 そ の 他

5 閉 会

4 会議録の確定

委員の署名

簗輪 幸三	今井 幸子
-------	-------

確定日時： 令和4年4月22日

○議事録

発言者	内 容
事務局	<p>1. 開 会</p> <p>定刻になりましたので、ただいまから「令和3年度第4回深谷市上下水道事業運営審議会」を開催いたします。本日、司会進行をいたします「企業経営課 井上」と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、事前にお配りした資料の確認をお願いします。</p> <p>① 深谷市上下水道事業運営審議会次第 ② 深谷市上下水道事業運営審議会委員名簿 ③ (資料1) 令和4年度上下水道事業会計予算について 以上の3点です。また、本日テーブルにお配りしましたものが、 ④ 深谷市上下水道事業経営戦略 でございます。こちらは、本審議会において委員の皆様にご審議及びご承認をいただき改訂させていただいたものでございます。</p> <p>不足がございましたら、事務局までお申し出ください。</p> <p>(確認が完了)</p> <p>本日の会議でございますが、半数以上の委員のご出席をいただいておりますので、深谷市上下水道事業運営審議会条例第5条第2項の規定により成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、お手元に配布いたしました次第により進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>2. 会長あいさつ</p>
事務局	<p>続きまして、「次第の2 会長あいさつ」に移りたいと存じます。</p> <p>それでは、岩崎様よりごあいさつをお願いいたします。</p>
会 長	<p>皆様あらためまして、こんにちは。3月も春分の日を過ぎ、寒さも和らぎと言いたいところですが、昨日は大変寒い日でありました。何かとお忙しい中、審議会に出席いただきありがとうございます。コロナもオミクロン株感染拡大防止のために再度期間延長となっておりますまん延防止重点措置も21日に指定され</p>

	<p>たすべての都道府県が解除となりました。感染者数は減少傾向ですが、これからのお花見の時期・行楽シーズンを迎え、まだまだ予断の許さない状況であり、委員の皆様にも十分気を付けていただきたいと思います。</p> <p>さて、これまで3回にわたりまして深谷市上下水道事業経営戦略の今後10年間を計画期間とした改訂案について貴重なご意見等いただきながら審議をいただきました。司会の方が言いましたように深谷市の上下水道事業経営戦略を皆様に配布をさせていただいております。</p> <p>本日の審議会では、令和4年度予算についての報告を受けることとなっております。委員の皆様には、忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。</p> <p>あわせて、議事の円滑な進行へのご協力をお願い申し上げまして、あいさついたします。どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、次第の3議事に移りたいと存じます。</p> <p>なお、ここからは、岩崎会長に議長として進行をお願いいたします。</p>
議長	<p>3. 議 事</p> <p>それでは、議長を務めさせていただきます。</p> <p>次第に従いまして進行してまいります。審議にあたりましては皆様の忌憚のないご意見をいただき、実りあるものとなりますようにご協力をお願いいたします。</p> <p>まず審議に入る前に、今回の審議会会議録署名人ですが、審議会委員名簿に従いまして、簗輪幸三委員、今井幸子委員をお願いしたいと存じますが、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>(同意)</p> <p>それでは、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次第3の(1)「令和4年度上下水道事業会計予算について」、事務局から説明をお願いします。</p> <p>それでは、令和4年度深谷市上下水道事業会計予算についてご説明いたします。</p> <p>お手元の「資料1 令和4年度上下水道事業会計予算について」の2ページをご覧ください。令和4年度水道事業会計予算についてご説明いたします。</p>

令和4年度の水道事業会計予算規模（支出の総額）は、57億2,855万円となっております。

資料の3ページをご覧ください。

収益的収支は、水道水を作り、皆様の家庭にお届けするのに必要な収入や支出でございます。

収益的収入の予算額は、33億2,816万4千円で、その多くは水道料金収入でございます。収益的支出の予算額は、28億4,742万円で、浄水場などの維持管理費、人件費と減価償却費などで構成されており、当期純利益は4億8,074万4千円を見込んでおります。

資料の4ページをご覧ください。

資本的収支は、浄水場などの施設を整備するのに必要な収入や支出でございます。

資本的収入の予算額は、12億5,252万4千円で、企業債、いわゆる借入金が大きな割合を占めております。

資本的支出の予算額は、28億8,113万円で、水道施設整備のための建設改良費、人件費及び借入の返済金にあたる企業債償還金などで構成されております。

資料の5ページをご覧ください。

令和4年度の主な事業についてご説明いたします。

老朽管更新事業では、重要給水施設配水管の更新を行います。

これは、「深谷市地域防災計画」に定められた防災拠点のうち、医療機関など優先度の高い施設を対象に、配水管の更新工事を行います。

このほかに老朽管更新を実施し、老朽管更新事業費は全体で5億8,003万円でございます。

施設整備事業では、①花園第一・第二配水場関係工事として、花園第一配水場から第二配水場間の送配水管更新工事を行った区間のうち、資料に記載の区間で舗装本復旧工事を実施し、事業費は3,300万円でございます。

②皿沼浄水場関係では、管理棟新設及び管理棟内設備更新工事などを実施し、事業費は12億3,184万7千円でございます。

資料の6ページをご覧ください。令和4年度下水道事業会計予算についてご説明いたします。

令和4年度の下水道事業会計予算規模（支出の総額）は、66億1,071万5千円

となっております。

資料の 7 ページをご覧ください。

収益的収支は、家庭などから出た汚水を処理するのに必要な収入や支出でございます。

収益的収入の予算額は、35 億 4,925 万 4 千円で、下水道使用料収入、農業集落排水使用料収入、一般会計からの負担金などで構成されております。

収益的支出の予算額は、33 億 5,225 万 3 千円で、浄化センターなどの維持管理費、人件費と減価償却費などで構成されており、当期純利益は 1 億 9,700 万 1 千円を見込んでおります。

資料の 8 ページをご覧ください。

資本的収支は、下水道管や浄化センターなどを整備するのに必要な収入や支出でございます。

資本的収入の予算額は、18 億 1,212 万円 1 千円で、企業債、いわゆる借入金が大きな割合を占めております。

資本的支出の予算額は、32 億 5,846 万 2 千円で、下水道施設整備のための建設改良費、人件費及び借入の返済金にあたる企業債償還金で構成されております。

資料の 9 ページをご覧ください。令和 4 年度の主な事業についてご説明いたします。

公共下水道事業でございますが、①汚水管渠建設事業では、東方東部・岡部地区などで管布設工事及び東方東部地区などで舗装本復旧工事を実施し、事業費は 8 億 3,864 万円でございます。

②雨水管渠建設事業では、国済寺地区で管布設工事及び小前田地区で舗装本復旧工事を実施し、事業費は 1,896 万円でございます。

③浄化センター建設事業では、令和 2 年度に策定したストックマネジメント計画に基づく深谷市浄化センター更新の受変電設備更新などを実施し、事業費は 1 億 1,300 万円でございます。

農業集落排水事業でございますが、大谷地区の処理施設改修工事などを実施し、事業費は 2 億 35 万 9 千円でございます。

資料 10 ページと 11 ページには、公共下水道事業及び農業集落排水事業の予算を載せてございます。後ほどご参照いただきたく存じます。また、深谷市のホームページに水道事業会計及び下水道事業会計の予算書を掲載しておりますので、

	<p>こちらをご参照いただきたく存じます。</p> <p>以上で、令和4年度上下水道事業会計予算の説明を終わります。</p>
議 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明について、委員の皆様から質疑はございますか。</p>
委 員	<p>4 ページの水道事業の資本的収支ですが、前回の会議の時に予算の計画書をもって建設改良費が令和4年度でピークになるわけですね。予算的にも資本的収支というのがこの前の会議の時に41億になっていたが、今回の資料を受け取って見たら28億と半分近くになっていて、つい最近の予算書と今回の予算書の値が違うので私の読み違いなのか、その辺をお聴きしたいので質問いたしました。</p>
事務局	<p>ただ今の審議に対する質問ですが、令和4年度の予算書には今説明をした資料の建設改良費とこれまでご審議いただいた経営戦略の令和4年度の建設改良費の数字の違い、こちらにつきましては、皿沼浄水場の更新工事を行っているところでこれまでに説明していますが、この事業が令和元年度から令和4年度までの継続事業で令和元年度から令和3年度までの事業費につきましては、一部令和4年度に繰越を行っております。今回ご説明させていただいたのが、令和4年度分の事業費を予算として計上させていただいて、令和元年度から令和3年度に繰り越している部分に関しては、それぞれの年度で予算措置、予算計上させていただいてございますので、改めて令和4年度で予算計上する必要がないということで、まずそこで違いがございます。</p> <p>繰り越した予算については、経営戦略の収支計画には予算の見込みということで記載をさせていただいておりますので、その予算の繰り越した額が約23億円ございますので、その分の事業費について今日お配りいたしました経営戦略の令和4年度の建設改良費に追加で計上してございますので、その違いがございます。</p> <p>これに関連しまして、その財源でございます収入の企業債も繰越分を収支計画で計上しておりますので、違いがでていくということでご理解を頂ければと存じます。</p>
委 員	<p>説明いただいた資料が令和4年度分として申請した額がこの金額ということで28億ですか。財政計画にある令和4年度の予算見込みが申請する予算だけではなくて。</p>

事務局	過去の年度から繰り越されて今年度執行する予定のものがありますので、その分もプラスされた数字が経営戦略に記載されています。
委員	実際執行するのは41億で、予算的には令和4年度の28億と繰越分を合算して、41億の建設資金が出るということですか。
事務局	はい。実際に令和4年度予算として執行するのが今回説明した資料で繰り越されている分がありますので、それをプラスして実際に令和4年度として事業を執行して支出するのが、こちらの経営戦略の収支計画のほうが実態に近いということでご理解頂ければと存じます。
委員	下水道事業の関係は、収支計画と予算書がありますよね。水道のほうがあまりにずれていたの、どうしてそうなったのかなと説明を聞いたのですけれど。
事務局	下水道のほうは繰越をしている予算が少ないということで、ほぼ計画と予算が一致していると思いますが、水道のほうが先ほどご説明させていただいたとおりです。ただ、事業自体そのものが進んでいないということではなくて、工事自体は進んでございまして、支出が業者との協議の中で最終年度の完成した時に請求するとなっております。ただ、一部分は工事の前払金、中間前払金でお支払いをしていますので、事業費そのものについては進んでおりますけれど、実際の予算として執行するのが令和4年度ということで、ご理解いただければと存じます。
委員	事業というのは予算があって、予算の範囲内で実行するのかなと固定概念がありましたので、よく理解できなかったのですが、実際にはこちらがメインで令和3年までやって予算を立てるときにはこれを足しているということで、繰越があったので、ここだけ突出して違ったという考えでよろしいでしょうか。
事務局	はい。そのとおりです。
議長	ありがとうございました。 他にどなたかございますか。
委員	私の聞き間違いかもしれませんが、9ページの農業集落排水事業の事業費が記載されているものが2億6,035万9千円で、お聴きしたのが2億35万9千円だったのですが、どちらが正しいのでしょうか。

事務局	<p>すいません。説明の時に数字を言い間違えていたのであれば申し訳ございませんでした。数字につきましては、資料に記載されているとおり2億6,035万9千円が正しい数字でございますのでご理解いただければと存じます。</p>
議長	<p>他にどなたかございますか。</p>
委員	<p>水道関係は、企業償還金は少ないですが、下水道関係は企業償還金が多いのですか。</p>
事務局	<p>ただ今の質問についてですが、水道事業に比べて下水道事業の借入金の返済が多いのは、まず、下水道事業については整備段階ということで、それに対する財源ですが、下水道事業につきましては、国庫補助金の他に企業債ということで借入金を借りています。補助金等を除いた事業費のほとんどを企業債の借入りに依存している状況でございます。水道は借入の割合が下水と比べると低い状況でございます。経営戦略でも水道は企業債の借入割合を60%で借入を行っている状況でございます。一方、下水道事業につきましては、90%の割合ということで借入に依存している割合が水道に比べると下水道事業のほうが多いかたちで運用を行っておりますので、企業債償還金も水道に比べると多額となっている状況でございます。</p>
委員	<p>経営戦略を見ると、下水道事業の企業債はだんだん減ってきて、下がっていますよね。水道事業の借入金はあまり変わらない、現状維持でこの計画でも適切な規模でコンスタントに借りる必要があるとなっていますので、借入金というのは、どのレベルで借りたらいいのかというのは決まっていなくて、その都度の状況によって決まっていくものなのですか。</p>
事務局	<p>借入の度合いをどの程度にというのは、それぞれの事業体、市町村の考え方によると思いますが、深谷市の場合については先ほど申し上げたとおり、水道が60%、下水が90%ということで運用しております。</p> <p>今年度の負担についても考慮しなければいけない部分と、企業債については、なぜ借りるかという、その施設を建てたときに施設は30年から50年持ちますのでその建てた年度の人だけで負担していただくのではなくて、後年度の人達にもやはり公平に負担をしていただくということで償還をしていく仕組みと受益者負担の平準化という観点で企業債を借りているという側面もございます。水道につきましては、皿沼浄水場で大きな事業を行ってしまして、質疑にもありまし</p>

	<p>たけれど令和4年度がピークということで、それ以降は、通常の更新に戻っていきますので、同程度の水準でということでご説明させていただきました。</p> <p>下水道につきましては、令和7年度まで整備ということで、まだ整備段階にありますので事業費が多い状況です。その後、整備が終わって更新に移っていきまして事業費のほうも少しずつ減っていきます。その関係で下水道のほうが償還額の残高が減っていきますので、そのようなご理解でお願いしたいと思います。</p> <p>付け加えますと水道のほうの投資・財政計画を立てる際に、まず企業債を減らすということで60%から50%、55%に減らして、できるだけ借金を減らす努力をしてみないかという投げかけをしたのですが、試算をしたところ、運営資金がなくなってしまって、資本的収入の不足額が内部留保資金で補てんしますというところが補てんできなくなってしまう年度がございました。それなので、致し方なく企業債の借入額を増やさないという最低限のラインを守って、計画を立てています。できるだけ減らしたいとは思っていますが、毎年決まった金額の6億の管更新を続けていくので解消するには料金の値上げをしかないのですが、見直しの中で今後10年間については、値上げはしないということの方針決定をさせていただいていますので、借金をできるだけ減らす努力をします。努力はするのですが、計算上難しいので増やさない。それは、下水も同じなのですが、先ほどの説明がありましたとおり、どうしても何もやっていないところをこれから令和7年度までやらなくてはいけなくて、初期投資がかかるために、同じような工事をやっているのですが、メーターあたりに係る単価が一桁違ったりする場合がありますので、たくさんお金がかかってしまうところがございます。これまでに借りているお金も高額なので何とか減らそうと努力はしていくのですが、令和7年度で一応の整備が終わりますので水道と同じように老朽管の更新に移行していきます。この移行期間で今まで高利だった償還金が少なくなっていく、ある一定のところまでいくと平準化する。ずっと同じような金額がかかってくるというところでしょうか。</p>
事務局	
委員	<p>高い金利のところを支払って、安くしたとかで金利は今下がっているのですか。</p>
事務局	<p>今ちょうど借入手続きをしているところなのですが、前年度の借入実績で言えば、公的資金が30年で借入をしています。0.5%で、過去には4%の高い時代もあって、経営戦略の中でも記載させていただきましたけれど、繰上償還ということで低い利率に借り換えて利息の負担軽減を図るとか、その制度を活用しながら事務を行っています。今、金融情勢が低金利ということで、ここ数年は0.5%前</p>

	後となっております。
委員	今、低金利なのでいいとは思いますが、また状況によって上がってくると変わってきますよね。
議長	他にどなたか。 数字的なことで聞いていいですか。3ページの水道事業で収益的収入の中で水道料金というのがありますよね。26億の。経営戦略だと25億で若干増えた理由というのは、単純に増額ということで新しい企業が来たので増額ということでしょうか。
事務局	説明が不足してしまして申し訳ございませんでした。今日説明した資料の26億というのは、経営戦略のほうの収支計画24ページで24億となっておりますが、こちらの違いですが、今日ご説明させていただきました資料は消費税込みの数字を記載してしまして、こちらの経営戦略の数字につきましては、収益的収支のほうは税抜きの数字で記載しております。その関係でこちらの資料の収益的収支の金額とこちらの収支計画のほうの数字が異なっているということでご理解いただければと存じます。
議長	ありがとうございます。 他にどなたかございますか。
委員	すいません。今のは、下水道についても同じですか。
事務局	下水道についても同じです。資本的収支については、両方とも税込みの数字で記載しておりますので、多少数字の違いはございますが比較的同じ数字か近い数字で記載しております。 収益的収支のほうについては、資料の数字は税込みの数字で、経営戦略の収支計画については、税抜きの数字で記載しておりますので、その違いがあるということでご理解いただければと存じます。
議長	特にほかにございませんか。 では、質疑も出尽くしたということで令和4年度上下水道事業会計予算についての説明を終了させていただきます。

	<p>4. その他</p> <p>続きまして、「次第4 その他」について、事務局からお願いします。</p> <p>事務局 今回の審議会の報酬のお支払いについてご案内いたします。本日の審議会の報酬につきましては、4月5日の火曜日の振り込みを予定しています。後ほど、通帳の記帳などをご確認いただければと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。</p> <p>議長 ありがとうございました。 ただいまの説明について、委員の皆さんの質疑はございますか。 ないようですので、これをもちまして本日の議事を終了いたします。 委員皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。 では、進行を司会にお返しいたします。</p> <p>5. 閉会</p> <p>事務局 ありがとうございました。 本日は、令和4年度予算についてご報告いたしました。本日お配りしました資料をご覧いただき、ご不明な点がございましたら、後日、企業経営課、水道工務課及び下水道工務課までご連絡いただければと存じます。 審議会で使用した資料や会議録につきましては、後日、市のホームページに掲載いたしますが、発言委員の名前を伏せた形で掲載となりますのでご了承下さい。 これをもちまして、令和3年度第4回深谷市上下水道事業運営審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>
--	---